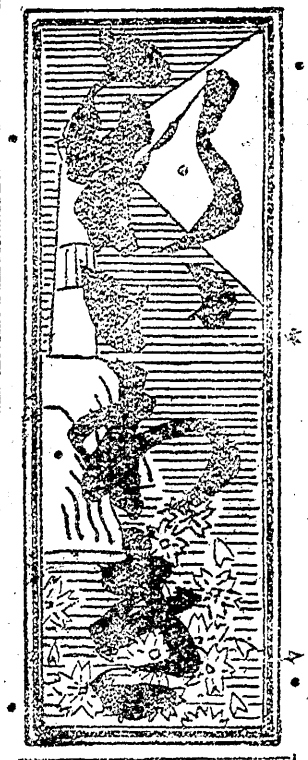
夕刊 十一月十九日



休日 毎月廿五錢 大阪毎日 一部十錢 一部二錢 一行四〇錢 廣告料 發行兼編輯人 印刷人 半谷政吾 發行所 南町廿 新いわき社 印刷所 磯島堂

湯本の水道工事に 國庫補助取消の噂

八萬餘圓がフイになれば 遣りかけた工事に大頓挫

石城郡湯本町の上水道工事は去九月一日の着工以來順調に進捗し大瀧江筋の取入口から内郷村宮の淨水池に至る送水路及び同町傾城山の配水池並に綴進めてゐるが竣工二十ケ月の見込を以て卅四萬圓を要する同工事の國庫補助二割五分が既に正式認可を得てゐるに拘らず經濟多難の爲め取消されそうな

傾城間 の鐵管布設等去月末迄の工程は二萬四千五百圓の出來方で之れに約二萬圓の費をなし目下百五十名の勞働者に一日七十錢の割で明年三月までの

悲報に 狼狽一方ならず來る二十四日小泉町長主務省に出頭歎願の筈なるも若し取消が事實とすれば勿論同工事に大頓挫を來すものと憂慮されてゐる

七萬圓 豫定工事を

補助の繰延べなら 大なる支障なく

既定通りの工事は 進め得るであらうと

別項所報石城郡湯本町に於ける國庫補助取消の如きは一旦正式認可を與へたるものに對しあり得べからざるものと傳へられてゐるが同町水道布設の出費

關係は 三十四萬圓の豫算に對して二割五分の國補並に縣補助十分の二で起債認可を得たるもの農銀からの九萬四千圓及び同町の學校と町の基本金二萬七千圓は既に

知事の 運用許可を得てゐるので全然國庫補助の取消でなく繰延べを除儀なくされる程度のものとせば同町に於ける財政の現狀として大なる支障なく從定の工事を進められるであらうと

新入營兵と 觀送會

明廿日縣社で

平町では本年の入營兵四十三名の爲め明廿日縣社子鍬倉神社々頭に歡送の宴を催す筈であるが氏名は左記の如くである

▲本籍者 佐藤二郎、木田三雄、板橋芳夫、齊藤警廣、小林重孝、菅野淺雄、瀬谷新平、永山一、沼田秀夫、赤津重美、澤田長四郎、富田雅雄、岩崎達雄、吉村榮助、佐々木五郎、長谷川惣五郎、船山孝次、近内勘藏、高木清一、木村忠雄、西潟元三、柏原英介、岡谷定一、立原道夫、菊地二郎、根本弘、齊藤一、石川一郎、鈴木新石衛門、坂田千平、金成龜太郎、織田活郎、金一郎、高橋正、山田均、和田國雄、兼田國治、赤津勇進、大竹德義、佐藤亥三吉、松本茂雄、蓬田茂（以上）

▲寄留者 鈴木由藏、馬場

石城産蜂屋柿の 共同出荷九十トン

最初の試みに非常な成績 明年は數倍する模樣

石城郡農會の斡旋する同郡産蜂屋柿の共同出荷は愈よ今明日で終りを告げる本年最初の試みとしては非常な成績で總量左記の如く九十一噸に達し

東京市 販賣斡旋所の相場は六貫目入一箱最高二圓七十錢、最低一圓五十錢、平均二圓弱に取引され此の價格七千二百餘圓で生産者の結束に大打撃を受けた地方

仲買商 連は從來に比し約三割方の高騰を以て買入れてゐるが同郡蜂屋柿の生産高は約七十萬貫で明年は本年の共同出荷に數倍するものと唱ひられてゐる

▲四倉驛から大野村其他の出荷五十三噸、草野驛八噸、平驛六噸、植田驛から植田、勿來、田人、川部、入遠野方面二十三噸

町村長の 支會總會

昨日平町で

石城町村長支會では昨十八日平町商業學校に總會を開き左記諸件に就き協議を遂げた

▲入營兵附添者東京方面 三坂、大野、横須賀方面 高久、千葉方面田人、若松方面大浦、仙臺方面玉川、滿鮮方面、内郷其他在郷軍人聯合分會より四名、不況對策及失業救濟納稅改善、救護法實施、支會費納入、滿州守備兵慰問弔慰、縣施設事項に關する陳情、自治振興座談會開催評議員一名缺員の補充等

武川家の訃

平町商業學校教諭武川信夫氏母堂リン媼は持病喘息の療養中であつたが藥石効なく去十八日午後一時逝去し今十九日午後三時送葬された媼は同町愛婦會の幹部で公共に盡された功勞も少なくない行年六十才

小名濱消防 秋季檢閱

昨十八日同町の海岸で

石城郡小名濱消防組では昨十八日同町海岸に於て秋季檢閱を擧し平署から樫村署長出張機械器具の檢閲及び水勢試驗の後簡素な慰勞會を開いて解散した

兵役服務者の 家庭表彰

三名以上の軍人を出すもの

平町では目下兵事係及び各區長に於て去る十月十九日の勅令による一家から多數の兵役服務者を出だしたる家庭の表彰につき調査中であるが右は該當者の各自宅より申告の形式を以て今月末までに縣に取纒めることになつてゐる多數と稱すると云ふ大きなズダ袋を脊中は戸主並に其の祖父、父子孫、兄及び弟の中にて三人以上の服務者を出だす名譽ある家庭であつて同町では平國にも珍らしい二丁目田卷造酒之助氏宅の七名を筆頭とし該當者が少なくあるまいと云はれてゐる

枯木 髮振亂す女の訴

荒むちまたに 百二十圓の前借金が 知らぬ間に四百七十圓

昨十八日午後三時過ぎ平署膳がゐるので半狂亂の態との受付口に髮振り亂して身なり身の處置に助けを求むの窮境を訴ふる酌婦體の女があるので次第を質して見ると當時石城郡豐間村の豐間料理店末廣亭方抱へ

東京府下 向島生れ大山てる(三)と稱し今から三年前百二十圓の前借で同屋に住み込んだが知らぬ間に四百七十圓に借金が嵩んで到底浮ぶ瀬がなくなつたのみか村内に

夫婦約束 までした同郷染の男が出來百日程前男の子を生んだが抱主の無情から女郎に賣飛ばされる魂胆向を忖度すれば菊の香と藥家と机とを照させたのを手柄とした樣であるが斧さくの跡が歴然として居てわざとらしさが嘔吐を催さしめる

同女に續 いて男も同署に駆つけ主人の仕打ちを詳細に訴へた爲め關係者の座敷らしい處に机が一脚月宮殿と云ふ札のある鉢菊が紫震殿と云ふ菊であつたそれがどうしたのだと云ひたくなる作者の意嚮は事志と違ふと云ふ事をつかまいた積りか知れぬがそんな事は謎の世界俳句界では通用しませぬ

滿州守備入營出發 平町一丁目一八の赤津重美君は滿州奉天獨立守備二大隊第四中隊へ入營するが十二月一日同隊の入隊に對し來る二十三日出發の筈でこれが本年入營の皮切であることである

俳句 喜久の薫り (七)

滿壽莊主人

菊の香に藥家のぞけは机かな　吟霞

咲たれば札の違ふやきく の花　露竹

菊の香がする除り床しいので藥家を覗いて見たらそこの座敷らしい處に机が一脚月宮殿と云ふ札のある鉢菊が紫震殿と云ふ菊であつたと云ふので此作者の

十分に日はさゝねども菊 の花　卜早

たゞ失れだけの事隨て句として價値なし

憎まれ口

官吏と云ふのは何をする人でせうそれは官の命によつて働く人なんだが働く樣な素振りで働かないのも官吏である、仕事よりも自己の身邊を護ることに窮急なのが本職で勤務の時間から時間までを上手に過ごすことが巧妙であり上役の垢を流す風呂水を汲んだり其の奥樣の使ふ炊事場の水を選んで絶えず御機嫌伺ひを忘れなければ官務は其日暮しの腰掛主義の横着をしても行政整理にも勿論馘首はされず寧ろトン〳〵拍子の出世が出來て嚴めしい樣な側から見れば苦笑味タップリなお役人面と云ふ一種特別な人間離れのした面付に一層の箔がついて政府と云ふ大きなズダ袋を脊中にお役人風と云ふ人民泣かせの風を吹かせたり除り結構でもない不景氣風を散らしたり其威張り賃として月給も貰ひれば更に一生食ひはぐれのない恩給と云ふ者にもありつける人間樣々のことである

水田裏作の蔬菜栽培（完）

本縣農試石城分場　失ケ崎技手

次には種薯であるが種薯として使用する薯の大さは大形のものを植込むと小形のものを植込んだ場合よりも收量が多いのである、之れは大薯は小薯よりも養分の含有が小薯に比して多いのである、而しながら大形のものが良いものを其のまゝ使用しても其の割合に收量が多くなるものでなく反つて不經濟である大體一個の重量が十五匁位のものを使用するのが良い此の場合に一個丸のまゝ十五匁のものを切斷して其の一半が十五匁のものを使用した方が成績は優良となるのである此の理由は前記の樣に大薯は養分の含有量が小薯に比して多く從つて發生する芽は太く丈夫で薯の收量は多くなるからである、

次には種薯の新舊であるが前者即ち二度作薯（秋薯と云ふ）を種薯に供したものと後者即ち一度（夏薯とも云ふ）を種薯に供したるものとを比較やると前者は後者よりも收量多く成績も極めて良好であるそれ故に種薯としては二度作薯を使用するのが良いのである

平町
入院療養
藤沼醫院
電話五〇七番
紺屋町

恐怖時代の
動脈硬化症
豫防及治療新藥
アイヨー錠
試用二圓
定價 中 六圓 大 廿圓
發賣以來白熱的に歡迎せらる
特約店
山野邊藥局
平町五丁目

十一月廿二日より廿六日まで
新築移轉
謝恩大賣出し
▼粗景呈上▲
平町三丁目　なかや洋服店

模範裁縫
冬服の御用命は高島屋へ
新柄着荷
高島屋洋服店
平町鍛冶町　電話三八六番

通學用統一靴
實用新案特許
耐久ー普通品ノ數倍
經濟ー沓下ガゴム靴ノ時ノ使用ノ二倍以上經濟ニ使ヘマス
1A1Z　1EN
9.75……40.
8.85……50.
9.9597…55.
10以上…65.
ヤルツ
平四　電一四〇

お醤油は……ヤマフル
醤油　味噌
たひら正宗
鰹節食料品
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町一〇番
電話（營業部）二七番

西洋支那料理共に自慢の腕
サービスのよい女給も揃つてご座います
期節的の支那料理は特に勉强
四品付定食九一錢、五品付定食一圓
平町、田町丁目角
電話、五七六　カフエー　ボクン

▽常は布團の御保存に
▽旅行にはトランクの代用
▽非常の時には非常袋に
赤玉印フトン袋
類似品有赤玉印に御注意を願ます
松印　夜具五枚入　二圓七十錢
竹印　夜具二流入　三圓二十錢
梅印　夜具五枚入三重蓋バンド付四圓五十錢
！各種陳列目下賣出し中！
特販約賣店　丸ほん（平三丁目　電三五九）

服んで良くきく
（絶對に胃腸を害さぬ）
淋病と消渴の特効藥　淋淋
平町一丁目
本舗　責任製劑　水野藥局
振替貯金口座仙臺八八七六

開業院
福島縣平町大町（新川端）
內科　一般
醫學博士　難波睦
電話五〇二番

諸毒下しの大効藥
安流丸
平町五丁目角
特約　野邊藥局

新築移轉
平町字古館冶町縣社前通り
內科　小兒科
矢吹醫院
院長　矢吹大輔
電話二六六番

良品廉價
久
商會